

令和元年度  
府中町第 2 次環境基本計画年次報告書  
(平成 30 年度実績)

第 2 次環境基本計画の適正な進行管理を図るため、その年度に町が取り組んできた各施策の実施状況及び今年度の計画についてお知らせします。

■第 2 次環境基本計画について

府中町環境基本計画は、まちの総合計画に基づいた環境分野の計画として、まちの環境をより良いものにしていくための計画です。

環境づくりの目標像を“ひと・まち・自然が共に生き、心豊かにくらすまち あきふちゅう”と定め、日々の生活や仕事の中で心がけ実践すべき環境にやさしい行動をまとめています。

本計画では、環境課題を整理し 4 つの基本方針、それぞれに 3 つの取り組みテーマを設定し、計画を推進しています。

■計画の期間

本計画は、府中町第 4 次総合計画（平成 28 年度～平成 37 年度）との整合をはかり、平成 28 年度から平成 37 年度までの 10 年間の計画の期間とします。

なお、計画期間の中間年度である概ね 5 年目に計画の見直しを行うこととしますが、社会経済情勢の変化や、計画の前提となる諸条件に大きな変更が生じた場合には、その都度見直しを行います。

■目標指標

平成 37 年度における目標指標は下記のとおりです。※現状値との検証は見直し時に行います。

目標指標	基準値	目標値(平成 37 年度)
基本方針 1：低炭素型のまちづくりの推進		
府中町から発生する温室効果ガス排出量の削減（前年度比で年 1% の削減）	1350.1 千 t -CO <sub>2</sub> (平成 24 年度実績)	1220.9 千 t -CO <sub>2</sub> 以下
基本方針 2：自然と共生する快適環境の推進		
住民の「市街地の緑が豊かで、自然が保全されている」に関する評価	38.2% (平成 27 年度実績)	50.0%以上
基本方針 3：資源循環による環境負荷の低減		
住民 1 人 1 日あたりのごみ排出量	797 g / 人・日 (平成 25 年度実績)	717 g / 人・日以下
府中町全体のリサイクル率 ※町の収集及び持ち込みごみに限る	11.8% (平成 25 年度実績)	19%以上
府中町全体の最終処分量 ※町の収集及び持ち込みごみに限る	935 t / 年 (平成 25 年度実績)	888 t / 年以下
基本方針 4：協働型環境づくりの推進		
住民・事業者・行政の協働、連携した環境づくりの取り組み (3 者協働だけでなく、2 者間での取り組みや協議の場も含む)	40 回 / 年 (平成 26 年度実績)	100 回 / 年以上

■次ページからの各基本方針の取り組み状況の内容説明の見かたについて

基本方針：〇〇〇〇の推進

(基本方針の説明) 〇〇〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・のまちづくりを目指します。

◆各取り組みテーマ：〇〇〇〇

(取り組みテーマの説明) 〇〇〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・〇〇〇〇。

【事業概要】

●事業概要の説明 〇〇〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・〇〇〇〇

平成30年度実績・内容説明《新規、または継続》 〇〇〇〇・・・・〇〇〇

令和元年度予定・内容説明 〇〇〇〇・・・・・・・・〇〇〇〇

指標項目 指標項目の内容

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標		6	8	10	12	14
実績	2	5	8	11		
達成状況		△	◎	◎		

※達成状況の評価

4段階評価	◎ (目標より進んでいる)	○ (ほぼ目標どおり)	△ (目標より遅れている)	× (目標より大幅に遅れている)
年々増加・減少する項目	本年度の年目標値以上	本年度の年目標値の90%以上	本年度の年目標値90%未満	本年度の年目標値70%未満

## 基本方針 1：低炭素型のまちづくりの推進

これからのまちの環境づくりにおいては、これまでの地球温暖化に向けた取り組みを継続しつつ、新たに地域資源を活用したエネルギーの導入や、効率的なエネルギーの利活用の推進に取り組み、まち全体として温室効果ガスを削減させる低炭素型のまちづくりを目指します。

### ◆取り組みテーマ1：温室効果ガスの削減

地域毎の特徴を捉え、住民・事業者・行政それぞれが温室効果ガスを減らす取り組みを主体的に進めていきます。また、各取り組みの相乗効果により、温室効果ガスの削減効果を総合的に高めます。

#### 【事業の概要】

- 町営コミュニティバス「つばきバス」の現在地情報をインターネットで提供するなど、コミュニティバスの利用促進に取り組みます。

**平成30年度実績** ・平成28年6月から導入した「BUSit」(※)により利用者が増えましたが7月豪雨災害により目標に達成できませんでした。

**令和元年度予定** ・「BUSit」の導入で利便性は向上しましたが、更なる利便性の向上のため、府中町公共交通協議会でつばきバスの運行ルートの変更(※)を検討します。

※ 「BUSit」とは、広島県バス協会が提供するバスの到着時間がわかるインターネット配信サービスです。

※ つばきバス利用者からのアンケート結果を基に検討されます。

#### 指標項目 つばきバスの年間利用者数

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	188,780	189,520	190,260	190,630	191,000
実績	187,298	184,364	190,293	185,471		
達成状況		○	◎	○		

(単位：人)

※平成30年度は、7月の豪雨災害による通行止め等、道路交通状況の混乱により、バスの運行が制限され、利用者数が減少した。

- 省エネや補助金制度に関する情報発信、環境学習講座や環境イベントの実施により、住民などに対する地球温暖化対策への意識向上を図り、その活動の支援に取り組みます。

**平成30年度実績** ・「エコチャレンジ」(毎月)や「ひろしま環境の日」(6月)、くらすば環境活動支援補助金制度について、広報やホームページ等に掲載しました。

- ・府中町脱温暖化市民協議会から環境家計簿を配布し、住民の省エネ意識を高めました。

- ・環境省の「COOL CHOICE」(※)に賛同し、「COOL

CHOICE」を広報等で呼びかけました。

※「<sup>クール</sup>COOL <sup>チョイス</sup>CHOICE」とは、2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のため、省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組みの事です。

- 令和元年度予定**
- ・広報への掲載は引き続き行い、掲載時期や内容の工夫を図ります。
  - ・ホームページで提供している情報が少ないので、SNSも併せて情報を充実させていきます。
  - ・出前講座やイベント等の実施について、事業者やボランティア団体（府中町脱温暖化市民協議会等）と協力・連携を図っていきます。

同講習のニーズ自体が減少していると思われるため、指標項目とするべきかの検討を要する。

指標項目 エコドライブ講習の受講者数

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	20	40	60	80	100
実績	0	50	41	0		
達成状況		◎	◎	×		

(単位：人)

※JAF から講師派遣を行うための参加人数の下制限条件（1回当たり30人）が厳しくなり、平成30年度から開催困難となったため。

- 「府中町地球温暖化対策実行計画【事務事業編】」に基づき、温室効果ガスの発生抑制に率先して取り組みます。

**平成30年度実績** ・公園灯を白熱灯からLEDへ切り替えました。

- 令和元年度予定**
- ・省エネ行動によるCO<sub>2</sub>の排出抑制は取り組んでいるものの、その効果は小さく、限界があります。CO<sub>2</sub>の排出量削減には、公共施設の省エネ設備の導入が必要ですが、コスト面で導入が進みにくい状況があります。また、CO<sub>2</sub>の排出量の積算は、契約している電力会社のCO<sub>2</sub>の排出係数（※）を基に行うため、CO<sub>2</sub>の排出係数の高い電力会社になれば、目標達成が難しくなります。ついては、目標達成のためには、契約相手の確定方法として、例えば、入札額が同額であれば、CO<sub>2</sub>の排出係数の低い事業所を選ぶなどの条件付けができないかを、検討します。
  - ・府中町の公共施設で実施されているエコキャップ運動（ペットボトルのキャップを廃棄・焼却せず、回収・リサイクルすることで、CO<sub>2</sub>の排出削減に資する取組み）に協力していきます。

令和2年1月末現在

キャップ回収量58.3kg → CO<sub>2</sub> 排出削減量：170.2kg  
キャップ1kg（430個相当）について

- ・焼却 ⇒ CO<sub>2</sub>が3,150g発生
- ・リサイクル（破碎・溶解に要する電気）⇒ CO<sub>2</sub>が230g発生  
⇒ キャップ1kgをリサイクルすることで、2,920gのCO<sub>2</sub>削減となる。

※ カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム（※1）  
事務局及びプラスチックスマートキャンペーン（※2）事務局の調査データより

※1 商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して検出される温室効果ガスの排出量をCO<sub>2</sub>に換算して、商品やサービスに分かりやすく表示する仕組み。

※2 環境省が立ち上げた世界的な海洋プラスチック問題の解決に向けて、個人・自治体・NGO・企業・研究機関など幅広い主体が連携協働して取組を進めることを後押しするためのキャンペーン。

※ CO<sub>2</sub>の排出係数とは、二酸化炭素排出係数のことで、単位生産量・消費量等当りの二酸化炭素の排出量を表す数値。電気はt-CO<sub>2</sub>/kWh（1時間当りの電気の消費量で排出する二酸化炭素の排出量）で表されます。

・水分峡森林公園管理棟では、薪ストーブを使用しています。  
薪ストーブの燃料である薪を燃やしても二酸化炭素が排出されます。  
しかし、この二酸化炭素は、木が成長する上で吸収したものであるため、薪を燃やしても地球上の二酸化炭素の総量は変わりません。

薪ストーブは、再生可能なエネルギーである薪を燃焼させ、暖をとるものであり、地球温暖化に有効なカーボンニュートラル（※）を実現します。

※カーボンニュートラルとは、排出される二酸化炭素と吸収される二酸化炭素量が同じ量ということ。

電気契約先により実績値が変動することが適切な指標なのか検討を要する。

指標項目 行政活動に伴い発生する温室効果ガスの排出量

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	3,255,018	3,161,263	3,067,508	2,973,753	2,880,000
実績	3,348,773	2,566,325	2,497,846	3,324,511		
達成状況		◎	◎	○		

(単位：kg-CO<sub>2</sub>)

※温室効果ガス増加理由：電気の使用量に大幅な変動はないが、電力契約を CO<sub>2</sub> 排出係数の高い電力会社との契約に変更したことで、全体の CO<sub>2</sub> 排出量が増加した。

## ◆取り組みテーマ2：再生可能エネルギーの利活用

環境負荷の少ない太陽光発電などの再生可能エネルギーの利活用を推進するとともに、町内で創ったエネルギーを溜めて、賢く使う、エネルギーの地産地消に取り組みます。

### 【事業の概要】

●再生可能エネルギーに関する環境学習や補助制度などの情報発信に取り組みます。

**平成30年度実績** ・令和元年度に発表される住宅統計調査データにより評価するため、今回評価はありません。

・環境関連のホームページ等を充実させ、環境学習や補助金情報を随時配信しました。

**令和元年度予定** ・太陽光発電設備は、国の補助制度と平成21年から始まった固定価格買取制度（※1）により大きく普及しました。現在は、設備導入のための国の補助制度はありませんが、太陽光発電設備の価格が下がってきたことにより電気の買取価格も下がってきているので、費用対効果が普及のカギになると考えられます。今後は、太陽光発電設備のみの設置だけでなく、ZEH（※2）などの補助制度を利用した設置も考えられます。普及促進のため、これらの情報発信に努めます。

・令和元年度に公表される住宅統計データを基に目標値等の見直しを検討します。

・環境関連のホームページ等を充実させ、環境学習や補助金情報を随時配信します。

※1 固定価格買取制度とは、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が国の定めた固定価格で一定期間（家庭用太陽光は10年間）買い取る制度。

※2 ZEHとは、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスのことで、「快適な室内空間」と「住宅で消費する年間のエネルギー量が正味ゼロ」にすることを目指した住宅。

**指標項目** 町内の家庭用太陽光発電設備の導入割合

基準値 (平成25年度)	目標値 (令和2年度)
3.0%	5.0%以上

※5年ごとに行う住宅統計調査データのため、見直し時に検証

**平成30年度実績** ・計画の中間年度（令和2年度）時に実績を確認するため、評価はありません。また、具体的な取り組みはありません。

**令和元年度予定** ・事業所においては、ZEB（※）などの補助制度の活用が考えられるので、普及促進のための情報発信に取り組みます。

※ ZEBとは、ネット・ゼロ・エネルギー・ビルのことで、「快適な室内環境」と「建物で消費する年間のエネルギー量が正味ゼロ」にすることを目指した建物。

**指標項目** 事業所における再生可能エネルギー設備の導入割合

基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)
14.7%	18.0%以上

※事業所アンケートによるデータのため、見直し時に検証

- 町内で創られたエネルギーの地産地消の推進に取り組めます。

**平成30年度実績** ・水分峡森林公園管理棟で、薪ストーブを使用しています。

**令和元年度予定** ・水分峡森林公園管理棟で、薪ストーブを使用します。

- 新設または改修を行う公共施設への太陽光発電設備の導入に取り組めます。

**平成30年度実績** ・公共施設の新築、改修時に太陽光発電設備の導入または設置を見据えた設計を促しました。

- ・既存の公共施設に太陽光発電設備の設置の可能性を検討しました。

**令和元年度予定** ・府中町公共施設等総合管理計画には、施設の省エネルギー化について盛り込まれているものの、再生可能エネルギー設備の積極的な導入にはつながっていません。要因としては、導入コストや維持管理費において優位性が見込まれていないと考えられます。しかし、太陽光発電設備はCO<sub>2</sub>の排出抑制につながるため、今後も関係部署に国の補助制度を周知し、再生可能エネルギー設備の導入の検討を図ります。

**指標項目** 太陽光発電設備を導入している公共施設数

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	4	4	4	4	4
実績	2	4 (2)	4 (0)	4 (0)		
達成状況		◎	◎	◎		

(単位：施設)





### ◆取り組みテーマ3：吸収減対策の推進

当町の約半分を占める森林は、二酸化炭素を吸収し固定する「貯蔵庫」としての役割を有しています。二酸化炭素吸収量を維持するため、既存の森林の適正な管理を行います。また、住宅や工場などが集積する市街地については、緑地の適正な配置や管理により、緑を増やすことで、二酸化炭素の吸収源対策に取り組みます。

#### 【事業の概要】

- 緑に関する知識を深めるためのイベントの検討や街路樹の配置など、緑化の推進に取り組みます。

**平成30年度実績** ・各年度の目標値は設定していないため、評価していません。中間年度（令和2年度）の実績を評価検証し、必要に応じて見直しを行います。

- ・南小学校青崎東線に中低木の街路樹を整備しました。
- ・公園（柳ヶ丘南広場）に植樹をしました。
- ・府中町脱温暖化市民協議会主催の「緑の仲間フェスタ」で花の苗やゴーヤの種を配付の支援を行いました。
- ・人権の花運動を実施し、府中町内の小学校の児童に花の苗と球根を贈呈しました。
- ・2020年実施予定の「全国都市緑化ひろしまフェア」に向けて、広島市及び安芸郡3町と協議を行いました。
- ・府中町脱温暖化市民協議会主催の「緑のカーテンコンテスト」は、民間宅地や町内施設の緑化推進と省エネに寄与しており、その活動支援や周知に努めました。

#### 令和元年度予定

- ・2020年に実施予定の「全国都市緑化ひろしまフェア」に向けて、空城山公園の緑化に努めます。
- ・府中町脱温暖化市民協議会主催の「緑の仲間フェスタ」で花の苗を配付の支援を行います。
- ・都市整備課と協議し、新設改良道路の街路樹の植樹を検討します。
- ・公園に植樹ができる箇所はありますが、樹木を嫌う住民もいるため、地域との調整を進めます。
- ・府中町脱温暖化市民協議会主催の「緑のカーテンコンテスト」は、民間宅地や町内施設の緑化推進と省エネに寄与しますが、年々応募者が減少しているため、活動支援や周知に努めます。
- ・人権の花運動を実施し、府中町内の小学校の児童に花の苗と球根を贈呈します。



平成 30 年度緑のカーテンコンテストグ  
リーン大賞作品（個人の部）



人権の花運動の様子

**指標項目** 市街地内における緑地率

年度	基準値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元年度	R2 年度
目標	—	—	—	—	—	13.52
実績	13.43	13.48	13.48	13.48		
達成状況						

（単位：％）

●二酸化炭素の吸収効果を維持するため、町内の森林間伐に取り組みます。

**平成30年度実績** ・水分峡森林公園は、平成30年度7月豪雨により被災し、災害復旧工事を優先しているため間伐ができませんでした。

**令和元年度予定** ・災害復旧工事の工程・状況を見て場所を選定し、間伐を行います。

**指標項目** 森林の間伐面積 数値は（）内以外は累計

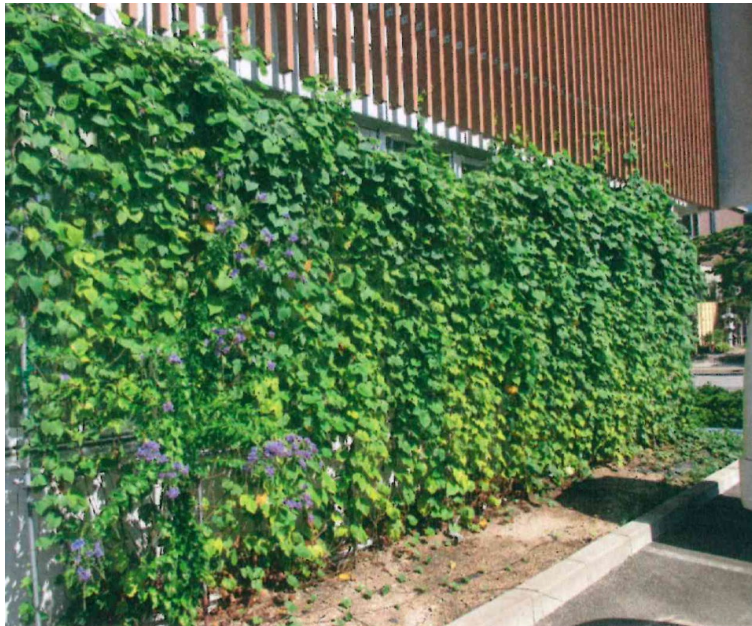
年度	基準値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元年度	R2 年度
目標	—	10.2	12.2	14.2	16.2	18.2
実績	6.2	16.05(2.3)	17.83(1.78)	17.83 (0)		
達成状況		◎	◎	◎		

（単位：ha）

●大規模施設、工場、屋上、壁面といった様々な緑化に対する助成制度の検討や緑化に関する情報発信など、市街地内の民間宅地における緑化推進に取り組みます。

**平成30年度実績** ・景観条例（大規模行為）にかかる届出の際、できるだけ敷地内の緑化に努めるよう助言しました。

- ・府中町脱温暖化市民協議会主催の「緑のカーテンコンテスト」の活動支援を行いました。
- 令和元年度予定**
- ・景観条例（大規模行為）にかかる届出の際、できるだけ敷地内の緑化に努めるよう助言します。
  - ・府中町脱温暖化市民協議会主催の「緑のカーテンコンテスト」は、民間宅地や町内施設の緑化推進と省エネに寄与しますが、年々応募者が減少しているため、活動支援や周知に努めます。



平成 30 年度緑のカーテンコンテスト緑の仲間賞  
作品（団体の部）

## 基本方針 2：自然と共生する快適環境の推進

これからのまちの環境づくりにおいては、市街地に残された緑地や水辺の保全や、町内における自然や生きものとふれあえる場の維持や創出に取り組み、まちで生活する人々が快適に暮らせるまちづくりを目指します。

### ◆取り組みテーマ 1：自然環境の保全

緑や生きものを保全し、自然とのふれあいを身近に感じられる場の維持や創出に取り組みます。

#### 【事業の概要】

- まちの自然環境保全に向け、環境学習講座の実施、町内の環境活動団体への支援、活動内容の紹介、活動参加者の募集などに取り組みます。

- 平成30年度実績**
- ・自然の大切さを学習するため、水分峡森林公園で水生生物の観察会（水辺教室）を町内小学校3校に行いました。
  - ・「クリーン太田川」の清掃活動について、平成30年度は7月豪雨災害のため中止となりました。
  - ・身近な環境保全活動を行う団体に「くらすば環境づくり支援事業」による助成金を交付しました。
  - ・環境活動団体（くらすば環境活動支援事業助成実施団体、脱温暖化市民協議会、公衆衛生推進協議会等）について、広報とホームページに掲載しました。

- 令和元年度予定**
- ・「クリーン太田川」の清掃活動について、平成30年度は7月豪雨災害のため、令和元年度も中止となります。
  - ・環境保全活動を増やすため、引き続き「くらすば環境づくり支援事業」による環境保全活動団体への助成を行い、広報やホームページ等で周知を図っていきます。

#### 指標項目 緑地や水辺の保全に向けた環境活動数

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	86	90	94	98	100以上
実績	84	138	124	255		
達成状況		◎	◎	◎		

（単位：回/年）

※増理由：事業報告書に正確に活動実施日が報告されていなかったことを是正したところ、目標は達成しました。



平成 30 年度くらすば環境づくり支援事業実施

- 町内の自然環境の保全などに役立てるため、町内の植物の生育状況や生きものの生息状況の把握と情報発信に取り組みます。

**平成30年度実績** ・調査マニュアルを元に作成した「府中町のいきもの探しガイド」を、町内の小学4年生に配布しました。また、広報やホームページ、フェイスブックにも掲載し、町民や事業者に調査を呼びかけました。  
 ・府中町公式ホームページは平成30年6月からの掲載ですが、閲覧数は目標を達成しました。

**令和元年度予定** ・「府中町のいきもの探しガイド」を作成しましたが、問い合わせが少なく、ほとんど調査報告も届いていません。引き続き、町内の小学4年生に配布するとともに、広報やホームページ等に掲載し、町民や事業者に調査を呼びかけていきます。

**指標項目** Web サイト「府中町生きものマップ」の閲覧数

年度	基準値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元年度	R2 年度
目標	—	—	—	50	80	100
実績	0	0	0	332		
達成状況			—	◎		

(単位：件/年)

- 外来種の防除対策などの情報発信に取り組みます。

**平成30年度実績** ・ヒアリやアルゼンチンアリなどの特定外来生物の検体を広島県庁へ持ち込み、調査依頼しました。

**令和元年度予定** ・人の生活を脅かす外来種については、引き続き調査し住民には情報発信をしていきます。

- 自然共生地域・保全山林地域では、原則標高概ね 150m を超える範囲の開発を禁止し、北東部帯の山並みを維持します。

**平成30年度実績** ・7月豪雨災害により水分峡森林公園は、立入禁止となり、目標値には達しませんでした。

**令和元年度予定** ・水分峡森林公園のオープンに向け、災害復旧工事を進めていきます。  
・森林環境贈与税を活用して森が崩れない防災対策も検討します。

**指標項目** 自然に身近な公園の来園者数

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	162,700	173,600	184,500	195,400	206,300
実績	151,000	155,577	156,499	68,009		
達成状況		○	○	×		

(単位：人)

※減理由：昨年、7月の豪雨災害により、水分峡森林公園が被災し、利用不能となったため。

## ◆取り組みテーマ2：生活環境の保全

誰もが快適に暮らせる環境を維持し、住み心地の良いまちづくりの創出に取り組みます。

### 【事業の概要】

●まちの生活環境の保全に向け、環境学習講座の実施に取り組みます。

**平成30年度実績**

- ・小学校で“ごみ”についての出前講座を実施しました。
- ・キッズ環境調査プロジェクトで、公衆衛生推進協議会から講師を招き、水辺の教室を行いました。
- ・空き缶等散乱ごみ追放キャンペーンを実施し、町の事業者、団体、町内会と共にポイ捨て防止を呼びかけました。

**令和元年度予定**

- ・環境学習講座や出前講座などを実施し、身近な生活環境に対する意識の向上を図ります。
- ・住民、団体、事業所に呼びかけ、引き続き「空き缶等散乱ごみ追放キャンペーン」を実施します。



小学校で“ごみ”についての出前講座の様子



空き缶等散乱ごみ追放キャンペーンの様子

●大気質・騒音・振動などの影響を継続的に把握し、快適な生活環境の維持に取り組みます。

**平成30年度実績**

- ・府中町の大気、水質、ダイオキシン、騒音、振動の状況を定点監視するため環境調査を継続して実施しました。

**令和元年度予定**

- ・府中町の環境（大気、水質、ダイオキシン、騒音、振動）を監視するため、環境調査を引き続き実施します。

**指標項目** 人の健康を保護し生活環境を保全する上で、維持することが望ましい基準の達成率

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	100	100	100	100	達成率の向上
実績	88	88	88	88		
達成状況		△	△	△		

(単位：%)

※県道の道路騒音（夜間）のみ基準を達成できていませんが、県道の道路交通規制等の措置を公安委員会に要請できる要請限度値を下回っていること、測定場所周辺に住居がないことから、状況を静観しています。

- 健康で快適な生活環境の向上や河川水質の改善に向け、市街地全域における公共下水道（汚水）の整備に取り組みます。

**平成30年度実績** ・社会資本総合整備計画（第2次）に基づく計画的な整備により、中間目標（R2年度）をすでに上回る実績となりました。

- ・下水道課と環境課が協働し、下水道供用開始から3年経過した地区を対象に、下水道未接続者への戸別訪問を行いました。
- ・浄化槽の法定検査未受検者に対し、勧奨通知を送付し、法定検査指定機関と協働で戸別訪問による指導を行いました。

**令和元年度予定**

- ・継続して下水道整備を図ります。
- ・公共下水道の整備が進む一方で、「下水道接続工事費用がかかる」「下水道の必要性を感じない」などの理由で、公共下水道への転換が進まないところもあります。下水道供用開始から3年以上経過した地区の下水道未接続者に対しては、継続して戸別訪問等の指導を行い、下水道接続への理解が得られるよう努めます。
- ・下水道未整備区域などで浄化槽を引き続き使用される場合は、適正管理をするよう広報等で啓発し、法定検査未受検者に対しては文書・戸別訪問による指導を行います。

**指標項目** 公共下水道人口普及率

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	90.4	91.2	92.0	93.0	94.0
実績	89.4	93.5	96.0	97.1		
達成状況		◎	◎	◎		

(単位：%)

- 粉じん、騒音、振動、悪臭などの公害苦情に対する、迅速な対応とその解決に取り組みます。

**平成30年度実績** ・生活環境に関する苦情、相談について、解決に向けて取り組みました。

**令和元年度予定** ・生活環境に関する苦情、相談について、解決に向けて取り組みます。



### ◆取り組みテーマ3：快適な都市環境の創造

良好な都市景観の保全や清潔なまちづくりの形成に取り組みます。また、古くから残るまちの風景や文化を学び保全することで、魅力あふれるまちづくりに取り組みます。

#### 【事業の概要】

- 大規模な道路、公園、公共建築物の整備にあたっては、地域景観のシンボルとなるようなより良い景観形成に努めます。

**平成30年度実績** ・ふるさと広島の景観の保全と創造に関する条例に基づき大規模行為景観形成基準及び町の定めた景観に関する計画等に照らし合わせ審査しました。(建築物2件、工作物6件、土地の区画形成の変更1件)  
 ・空城山公園、青崎公園、柳ヶ丘南広場にツバキやコスモスなどを植えました。

**令和元年度予定** ・大規模行為景観形成基準(建物の高さ13mを超えるもの、あるいは建築面積1,000㎡以上)に該当するものは引き続き届出を審査します。  
 ・歴史文化拠点周辺である府中公民館と歴史民俗資料館の改修等は、今後の道路整備と一体的に景観に配慮した施設となるよう担当部署に働きかけます。



柳ヶ丘南広場の様子

#### 指標項目 まちの美化に関わるボランティアの参加者数

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	10,500	11,500	13,000	14,000	15,000
実績	9,465	6,663	8,914	9,615 (※)		
達成状況		×	△	△		

(単位：人/年)

※内訳：空き缶等散乱ごみ追放キャンペーン8,070人+クリーン太田川0+くらすば1,545人。

- まちの歴史文化拠点周辺の緑地空間の保全・形成に取り組みます。また、これら歴史文化拠点につながり、重要な景観軸となる榎川沿いの松並木などを保全し、まちを代表する歴史文化景観の形成に取り組みます。

**平成30年度実績** ・優れた歴史風土を有する歴史文化資源である出張城跡や多家神社な

どに代表されるまちの歴史文化拠点周辺の緑地空間の保全・形成に取り組みました。また、これら歴史文化拠点につながり、重要な景観軸となる榎川沿いの松並木などを保全し、まちを代表する歴史文化景観の形成に取り組みました。

**令和元年度予定** ・榎川沿いの松並木は引き続き、都市整備課と連携し保全に取り組みます。

●まちの歴史文化や自然スポットの情報を掲載したパンフレット、町内散策マップ、町外からの来訪者を対象としたレンタサイクルサービスなど、まちの魅力の浸透・発信に取り組みます。

**平成30年度実績** ・まちの歴史文化や自然スポットを紹介するパンフレットを作成しました。

**令和元年度予定** ・「良好な都市景観の保全や清潔なまちづくりの形成に取り組む」における指標項目として、「府中町歴史民俗資料館の来館者数」は適切でないため、見直しを引き続き検討します。

指標を、例えば「お祭り」の参加者数に変更するなどの検討を要する。

**指標項目** 府中町歴史民俗資料館の来館者数

年度	基準値	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元年度	R2 年度
目標	—	—	—	—	—	10,000
実績	7,865	7,407	6,926	5,436		
達成状況		—	—	—		

(単位：人/年)



水分峡森林公園内のキャンプ場掲示板

### 基本方針3：資源循環による環境負荷の低減

これからのまちの環境づくりにおいては、住民・事業者・行政それぞれが大量生産・大量消費・大量廃棄からの脱却を意識し、日頃から3Rを実践することで資源循環が進んだまちづくりを目指します。

#### ◆取り組みテーマ1：ごみの排出抑制の推進

家庭や事業所から発生または排出されるごみの量を可能な限り少なくするため、ごみを減らした生活スタイルや事業スタイルへの転換を進めます。特に、事業系ごみは、今後も排出量が大幅に増加することが予測されることから、廃棄物処理責任を明確にし、分別の意識を高めることでごみの排出抑制を推進します。

##### 【事業の概要】

- ごみの減量化やリサイクルに向けた手引書の拡充や作成、住民や事業者に対し普及しやすい情報発信方法の検討など、ごみ減量化やリサイクルの推進に向けたわかりやすい情報発信に取り組みます。

**平成30年度実績** ・平成30年度は、家庭ごみの1人1日あたりのごみ量は目標値を達成しています。

- ・ごみの減量化やリサイクルに向けた手引書の拡充や作成、住民や事業者に対し普及しやすい情報発信方法の検討など、ごみ減量化やリサイクルの推進に向けたわかりやすい情報発信に取り組みました。

- ・「家庭ごみの正しい出し方」の内容拡充や、自主的な取り組み（ごみを出さない、生ごみの水切りを行う等）広報やホームページを使って周知啓発を行いました。

- ・ホームページを多言語化しました。

- ・アプリを導入し、ごみ収集日やごみに関する情報の配信サービスを実施しました。

- ・小学校を対象にエコクッキングを開催し、生ごみを減らす学習を行いました。

**令和元年度予定** ・手付かずの食品廃棄（食品ロス）の減量に有効とされているフードドライブ（※1）を調査し、町での取組実施を検討します。（事例：社会福祉法人府中町社会福祉協議会が近隣のフードバンク・フードドライブに取り組んでいるNPO法人から定期的に食材を入手し、府中町の地域食堂に提供するという活動を行っています。）

- ・引き続き、小学校を対象にエコクッキングを開催し、生ごみを減らす学習を行いました。

- ・平成29年度に行った調査結果からの変化を確認するため、令和元年度に普通ごみ（家庭系・事業系）の組成調査（※2）を実施します。

（2年毎に実施予定）

※1 フードドライブとは、家庭で余っている未利用の食品を持ち寄り、必要としている団体や施設、フードバンク等に寄付する活動のこと。

〔参考〕フードバンクとは、食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する団体・活動のこと。

※2 組成調査とは、ごみの品目の重量比を調査すること。

●多量排出事業者などを対象とした減量計画書作成の義務化、ごみの展開検査、ごみ処理手数料の適正化の検討など、事業活動に伴って発生するごみの減量化などに取り組みます。

**平成30年度実績** ・多量排出事業者などを対象とした減量計画書作成の義務化、ごみの展開検査、ごみ手数料の適正化の検討などごみ減量化やリサイクルの推進に取り組みます。

→府中町においては減量計画書の対象となる多量排出事業者は8団体と少なく、また、県内では、大規模自治体（中核市以上）のみが実施しており、減量計画書作成だけではごみ減量の効果が低いと思われる、実施に向けた取組みは行いませんでした。

多量排出事業者への取組みは行わず、町内のすべての事業者を対象に、「事業系ごみ減量・リサイクルガイドブック」を環境課、環境センターに設置し、希望者に配布等を行いました。

**令和元年度予定** ・「事業系ごみ減量・リサイクルガイドブック」を府中町商工センターにも設置するとともに、府中町ホームページにも掲載し、Web上でも見る事が出来るようにしました。

●ごみの減量化やリサイクルに対し優れた取組みを行っている住民団体や事業者に対し、表彰制度を検討し、ごみ減量化やリサイクルの推進に取り組みます。

**平成30年度実績** ・住民団体や事業者への表彰制度について、他市町の実施状況を調査しました。

→町独自の表彰制度による効果が十分に得られないと考え、国等の表彰制度の活用を図りました。しかし、国等からの表彰者の推薦依頼がありましたが、該当者はいませんでした。（ひろしま環境賞、環境人づくり企業大賞、ひろしま県民活動表彰、循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰）

**令和元年度予定** ・町独自の表彰制度の導入は見直しを行い、国等の表彰制度（例：環境保全功労者表彰）の活用を図ります。

**指標目標** 1人1日あたりの家庭ごみの排出量（町内会の集団回収量は含まない）

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	578.7	572.9	569.1	565.3	561.5
実績	585.5	567.2	567.7	555.1		
達成状況		◎	◎	◎		

（単位：g/人・日）

「売上や規模」から実績を算出す  
 など相対的にわかりやすい指標に  
 した方が、取り組みが見えてくる  
 のではないか？ただし、事業者か  
 ら売上高等の公開協力を得られる  
 ことが前提であります。

**指標目標 事業系ごみ排出量**

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	4,176	4,050	4,349	4,169	3,975
実績	3,986	4,342	4,541	4,564		
達成状況		○	△	○		

(単位：t/年)

※事業系一般廃棄物の増加要因として、廃棄物収集を運搬業者と別途契約するマンションが増加し、家庭系ごみではなく事業系として処理されること、介護施設からでる紙おむつの増加、大型商業施設の増床が大きな要因と考えられます。

## ◆取り組みテーマ2：ごみの資源化の推進

生活スタイルの多様化に対応し、新たな分別品目の拡充や店頭回収の推進などにより、誰もが取り組みやすい資源化の仕組みづくりを進めます。また、事業系ごみについては有価物の分別排出を徹底するため、資源化の実施事例などの情報発信を行うとともに、中小規模の事業所においても資源化に取り組みやすい仕組みづくりに取り組みます。

### 【事業の概要】

- ごみの減量化やリサイクルに向けた手引書の拡充や作成、住民や事業者に対し普及しやすい情報発信方法の検討など、ごみ減量化やリサイクルに向けたわかりやすい情報発信に取り組みました。
- 町で回収している資源物への雑がみの追加、“プラスチック類”“紙おむつ”“生ごみ”などの新たな資源回収品目の検討、有価物を持ち込める資源回収拠点の整備検討など、資源化の推進に取り組みます。

**平成30年度実績** ・他市町の好事例を参考に「事業系ごみ減量・リサイクルガイドブック」を作成し、町内のすべての事業者を対象に、このガイドブックを環境課、環境センターに設置し、希望者に配布等を行いました。

・平成30年4月から”雑がみ”の分別収集を開始し、併せて広報やホームページ、アプリで周知を行いました。

**令和元年度予定** ・「事業系ごみ減量・リサイクルガイドブック」を府中町商工センターにも設置するとともに、府中町ホームページにも掲載し、Web上でも見ることが出来るようにしました。

・”雑がみ”の分別収集について、町内会長への出前講座を実施し、住民に対しては広報等で引き続き周知をしていくとともに、分別の浸透に伴う収集量の変化や、課題の抽出を行います。

・更なる資源化に向け、”プラスチック類””紙おむつ””生ごみ”などの新たな資源回収品目を検討しましたが、資源化は難しい状況です

・国の政策の情報を収集し、国・県と連携を取りながら、使い捨てプラスチックの削減を検討します。

### 指標項目 紙類の資源回収量

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	340	350	750	800	863
実績	325	425	698	937		
達成状況		◎	◎	◎		

(単位：t/年)

※有価物の持ち去り防止条例を施行し、巡回パトロールの回数を増やし持ち去り者の指導を強化したため資源回収量が増加しました。

### ◆取り組みテーマ3：ごみの適正な処理・処分の推進

環境保全に配慮した適正な処理体系を確立し、不法投棄の削減などに取り組みます。

また、広域処理を行っている普通ごみ処理や委託処理を行っている最終処分については、安芸地区衛生施設管理組合の構成自治体と連携し、新たな普通ごみ処理施設や最終処分場の整備について協議していきます。

なお、大型ごみなどの分解場がある府中町環境センターは老朽化が進行しているため、都市化の進行や主要道路の拡充などの状況を踏まえ、今後の立地も考慮した整備体制について計画していきます。

#### 【事業の概要】

●町内会などと連携し、不法投棄や有価物の持ち去りに対する監視や情報連絡体制の強化に取り組みます。

**平成30年度実績** ・町内会などと連携し、不法投棄や有価物の持ち去りに対する監視や情報連絡体制の強化に取り組みました。

・持ち去り及び不法投棄監視パトロールの回数を平成29年度から2回分増やし、72回強化しました。

・定期的に深夜・早朝にパトロールを行った結果、平成30年度は持ち去りを54件発見し、指導や警告（口頭による指導：0件、警告書の交付：54件）を行いました。

**令和元年度予定** ・町内会の意見を踏まえ、効果的な場所に不法投棄監視カメラを設置するとともに巡回パトロールの拡充と法令違反者への告発を継続して行います。

・平成31年4月、1名を警察に告発し、起訴されました。

#### 指標項目 パトロール車の不法投棄ごみ回収量

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	30,000	28,000	26,000	24,000	22,000
実績	31,750	8,630	10,060	12,470		
達成状況		◎	◎	◎		

(単位：kg/年)

●合理的かつ効果的な収集運搬体制、新たな中間処理施設や最終処分場の整備の検討など、町内から発生するごみの適正処理・処分に向けて取り組みます。

**平成30年度実績** ・合理的かつ効果的な収集運搬体制、新たな中間処理施設や最終処分場の整備の検討など、町内から発生するごみ適正処理・処分に向けて取り組みました。

→安芸地区衛生管理組合と広島市及び安芸郡4町で協議し、安芸クリーンセンターの将来の整備方針について、共通認識を図り、合意しました。

→新たな最終処分場の整備については、安芸地区衛生管理組合、広島市及び安芸郡4町で協議を行い、当面、出島処分場を使用することで合意しました。

令和元年度予定      ・安芸クリーンセンターの整備や新たな最終処分場の整備については、  
周辺市町と随時協議を行います。



## 基本方針4：協働型環境づくりの推進

これからのまちの環境づくりにおいては、これまで培われてきた環境活動の維持を図りつつ、住民・事業者・行政の交流・連携を強化し、様々な主体が協働しやすいまちづくりを目指します。

### ◆取り組みテーマ1：環境活動の活性化

府中町では前計画策定に際し、住民自身により自分たちが住む地域の環境問題について考え、その解決に向けた自分たちの“行動プラン”をまとめていく会議を実施しました。そうした中、町内で活動団体を増やし活動の活性化を目指しました。本計画においても、この考え方を踏まえ、これからも継続して町内における環境活動の活性化に取り組みます。

#### 【事業の概要】

- 町内における環境活動の活性化に向け、町内の環境活動団体への支援、活動内容の紹介、活動参加者の募集などに取り組みます。

**平成30年度実績** ・「くらすば環境づくり支援事業」による環境保全活動団体への助成を行いました。

- 令和元年度予定** ・環境活動団体数や活動数が減少しているため、新たな活動者の掘り起こしや活動団体の活性化が必要と考えられます。

・引き続き、「くらすば環境づくり支援事業」による環境保全活動団体への助成を行います。

- 府中町ホームページや広報ふちゅうによる環境活動に関する情報発信、環境学習講座や環境イベントの実施など、住民や事業者に対する環境意識の向上に取り組みます。

**平成30年度実績** ・環境活動団体（くらすば環境づくり活動支援事業助成団体、脱温暖化市民協議会、公衆衛生推進協議会）の取組みについて、広報とホームページに掲載しました。

- 令和元年度予定** ・引き続き、環境活動団体（くらすば環境づくり活動支援事業助成団体、脱温暖化市民協議会、公衆衛生推進協議会）の取組みについて、広報とホームページに掲載します。

・身近な環境への関心が高まるよう、広報やホームページの内容を充実させ、環境活動団体の取組みや活動内容の周知を図っていきます。

#### 指標項目 町内で環境活動を行う住民団体の支援数

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	17	18	19	20	20
実績	16	15	16	14		
達成状況		△	△	△		

（単位：団体）

**平成30年度実績** ・目標を達成することができましたが、平成30年7月豪雨災害の影響が大きく、ホームページの閲覧数が増えたと思われます。

- ・ホームページや広報による環境活動に関する情報発信を行い、住民や事業者に対する環境意識の向上に取り組みました。
- ・町内の環境活動団体（くらすば環境づくり支援事業助成団体、脱温暖化市民協議会、公衆衛生推進協議会）への支援や活動内容をホームページに掲載しました。
- ・環境調査結果、キッズ環境調査プロジェクトの取組みを広報とホームページに掲載しました。
- ・「府中町のいきもの探しガイド」を作成し、広報やホームページ等で調査を呼びかけました。
- ・地球温暖化対策実行計画に基づく取組状況の公表について、ホームページに掲載しました。

**令和元年度予定** ・引き続きホームページや広報による環境活動に関する情報発信を行い、内容の充実を図ります。

**指標項目** 府中町ホームページにおける環境関係コンテンツの閲覧数

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	6,600	6,700	8,000	9,000	10,000
実績	6,533	8,781	12,473	18,675		
達成状況		◎	◎	◎		

(単位：件/年)

**平成30年度実績** ・公衆衛生推進協議会から講師を招き、キッズ環境調査プロジェクトに取り組む小学生と、水分峡森林公園で水生生物を調査しました。

・府中町脱温暖化市民協議会から講師を派遣し、小学生を対象にした環境にやさしい「エコクッキング」を実施しました。

・夏休みの子ども環境学習講座として、エネルギー総合研究所（東広島市）を訪問し、電気について学びました。

**令和元年度予定** ・出前講座については、住民や地域団体に周知が不足していた状況がありましたので、情報発信を強化し、環境学習機会の提供を増やしていきます。



エコクッキングの様子

**指標項目** 環境学習講座やイベントの実施回数

年度	基準値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	18	19	21	23	25
実績	17	15	15	8		
達成状況		△	△	×		

(単位：回/年)

※減理由：昨年、7月の豪雨災害により、「水分峡森林公園が被災し利用不能となったこと」及び「夏休み期間以後において環境学習講座の多くが開催できなかったこと」のため。



エネルギー総合研究所の訪問の様子

**◆取り組みテーマ2：環境活動の拡大・連携**

住民・事業者・行政の間でまちの環境づくりに関するコミュニケーションを育むことや活動主体の交流による活動内容の拡大を期待し、各主体の連携に取り組みます。

**【事業の概要】**

- 住民・事業者・行政それぞれが集まり、環境イベントの検討や環境活動を行うなど、各主体の連携の場の創出に取り組みます。

**平成30年度実績** ・行っていません。

**令和元年度予定** ・検討中です。

- 町内で実施されている環境活動について把握し、主体同士の新しい関係づくりに取り組みます。

**平成30年度実績** ・「町によるリサイクル白色トレイの回収箱の据え置きにご協力いただいている事業者」については、環境に配慮した事業活動として把握しています。

・町内事業者の環境活動の取組みについて、情報収集は、行っていません。

**令和元年度予定** ・平成30年度と同様の内容については、把握していますが、大半の町内事業者については、環境活動の取組みを把握できていません。よって、今後、指標の見直しを検討したい。

- 町内で顕著な活動を実施している団体や事業者を表彰し、府中町ホームページなどでの情報発信に取り組みます。

**平成30年度実績** ・町内で顕著な活動をしている個人や団体、事業者をホームページ等で情報発信しました。

- ・環境活動に取り組む団体を広報（6月）に掲載しました。

**令和元年度予定** ・町独自の表彰制度について、定期的な表彰を府中町の規模で実施した場合、対象となる事業所や住民団体からの応募が少なく、表彰の効果が十分に得られないことが判明したため、国等の表彰制度（例：地球温暖化防止活動環境大臣表彰）を活用していきます。

**指標項目** 環境活動に取り組んでいる町内会率

基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)
93%	100%

※町内会アンケートによるデータのため、見直し時に検証します。

**指標項目** 環境活動に取り組んでいる事業所率

基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)
31%	増加を図る

※事業所アンケートによるデータのため、見直し時に検証します。

**指標項目** 住民団体・事業者・行政が協働で行うイベントの企画・実施

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
目標	—	5	5	5	5	5
実績	4	5	4	4(※)		
達成状況		◎	△	△		

(単位：回/年)

※内訳：空き缶キャンペーン6月・12月、つばき祭り、緑の仲間フェスタの4回。



緑の仲間フェスタの様子

### ◆取り組みテーマ3：環境に配慮した事業活動の推進

---

当町は自動車製造業に関連した企業や工場が集積する企業城下町として成長・発展してきました。町内ではこれらをはじめとした製造業やその他の中小企業などの事業活動が環境に及ぼす影響が大きいことから、これらの環境負荷を低減するため、環境に配慮した事業活動の普及促進に取り組みます。

#### 【事業の概要】

●町内の事業者が実施する環境に配慮した事業活動の把握に取り組みます。

**平成30年度実績** ・「町によるリサイクル白色トレイの回収箱の据え置きにご協力いただいている事業者」については、把握しています。

**令和元年度予定** ・平成30年度と同様の内容については、把握していますが、大半の町内事業者については、環境活動の取組みを把握できていません。よって、今後、指標の見直しを検討したい。

●環境に配慮した事業活動を推進するため、府中町ホームページや広報ふちゅう、イベントなどにおいて事業所の取り組み内容に関する情報発信に取り組みます。

**平成30年度実績** ・「空き缶等散乱ごみ追放キャンペーン」における参加事業者をホームページで紹介しました。

**令和元年度予定** ・引き続き町内の事業者が実施する環境に配慮した事業活動の推進を図るため、イベント等への参加を呼び掛け、参加された情報をホームページ等で発信し、企業による環境活動の推進に取り組みます。